

本県の状況

支給労働者1人平均支給額	41万4221円	3.2%減少
支給事業所数割合	88.8%	1.3ポイント増加
平均支給率(支給月数)	1.10か月	0.06か月減少

1 支給労働者1人平均支給額

調査産業計における支給労働者1人平均支給額は41万4221円で、前年比-3.2%と2年ぶりに減少した。

産業別に支給額をみると、学研究・専門・技術サービス業99万1957円(同2.5%増加)が最も高く、以下、電気・ガス・熱供給・水道業81万53円、情報通信業80万4664円、製造業65万748円、複合サービス事業64万5455円だった。

2 支給事業所数割合

調査産業計における支給事業所の割合は88.8%で、前年の87.5%を1.3ポイント上回った。

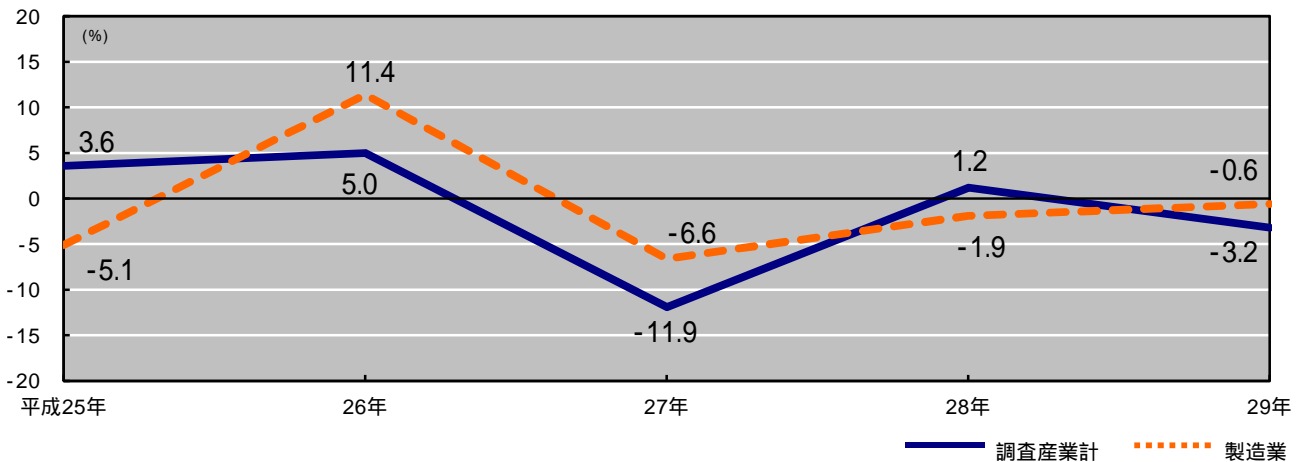
産業別にみると、調査対象の全事業所で夏季賞与が支給されたのは情報通信業、生活関連サービス、娯楽業、複合サービス事業の3業種だった。

3 平均支給率(支給月数)

調査産業計における平均支給率(所定内給与に対する支給割合)は1.10か月で、前年(1.16か月)を0.06か月下回った。

産業別にみると、2.36か月と最も高いのが、電気・ガス・熱供給・水道業(前年差0.04か月増加)であり、以下、学研究・専門・技術サービス業2.00か月(同0.18か月増加)、情報通信業1.79か月(同0.02か月減少)、金融業、保険業1.65か月(同0.02か月増加)、複合サービス事業1.64か月(同0.04か月増加)だった。

夏季賞与(支給労働者1人平均支給額)の前年比の推移



夏季賞与集計の説明

この結果は、毎月勤労統計調査地方調査の事業所規模30人以上の事業所について、平成29年6月分～平成29年8月分における「特別に支払われた給与」のうち、一般的に賞与、ボーナスなどと呼ばれている給与(以下「賞与」という。)を集計したものです。この利用についての留意点は、次のとおりです。

- 1 「支給労働者1人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)についての1人平均賞与支給額です。
- 2 「支給事業所数割合」とは、賞与を支給した事業所の全事業所に占める割合です。
- 3 「支給労働者数割合」とは、常用労働者総数に対する賞与を支給した事業所の全常用労働者数(当該事業所で賞与の支給を受けていない労働者も含む)の割合です。
- 4 「平均支給率(支給月数)」とは、賞与を支給した事業所における賞与の所定内給与に対する割合(支給月数)の平均です。